

参加者および演者へのお知らせとお願い

1. 参加される皆様へ

(1) 参加登録

①参加登録受付は、「霞ヶ関キャンパス9階 学生ラウンジ」の総合受付にお越しください。

【参加登録受付時間】

9月6日（土）8：30～15：00

【参加登録費】

医師：10,000円

研修医：2,000円

コメディカル：1,000円

学生：無料（学生証の提示が必要となります）

②受付で参加費をお支払いの上、参加証（領収書付）をお受け取りください。

③参加証は会場内では必ずご着用ください。

(2) 新入会

入会希望者は、参加登録受付隣の「年会費・新入会受付」にて、入会申込書と年会費5,000円を添えてお申し込みください。なお、発表者は本学会会員に限ります。

(3) プログラム・抄録集

1冊1,000円にて販売いたします。学会員の方には事前に発送しておりますが、必要な方は当日総合受付にてお求めください。

(4) 機器展示・書籍展示

機器・書籍展示は、9階学生ラウンジで開催いたします。

(5) 駐車場

駐車可能台数が限られているため、お車での来場はなるべくお控えください。

(6) 注意事項

会場内では、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。また、学会期間中の会場内での録音・録画・写真撮影は、固くお断りします。

2. 司会・座長の皆様へ

(1) 担当セッション開始の10分前までに、次座長席にご着席ください。

(2) 進行は、時間厳守でお願いします。発表時間は、一般演題については7分（発表5分、質疑2分）、その他のセッションについては、事前にご連絡している発表時間をお願いします。

3. 口演発表の皆様へ

(1) 発表時間

一般演題：7分（発表5分、質疑2分）

その他のセッションは、事前にご連絡している発表時間をお願いします。

※いずれのセッションも、時間厳守をお願いします。

(2) 発表形式

①発表は、口演でのPCプレゼンテーションとなります。

②会場では、Windowsのパソコンとプロジェクターをご用意しております。

スライド・ビデオなどでの発表はできません。

③対応アプリケーションは、2003、2007、2010です。

(3) 発表データ

①発表データは、次の方法でお持ちください。

Windows（動画を使用しない場合）：USBメモリをお持ちください。

Windows（動画を使用する場合）：必ずPC本体をお持ちください。

Macintosh：必ずPC本体をお持ちください。

②データ作成後、別のパソコンで正常に再生されることをご確認ください。

③フォントは、Windowsに標準搭載されているフォントをご使用ください。

④不測の事態に備えて、バックアップデータを必ずお持ちください。

⑤発表後のデータは、学会事務局立会いのもと、すべて消去させていただきます。

(4) PC本体持込の場合

①MiniD-sub15pin用のケーブルを事務局でご用意いたします。一部のノートパソコンでは本体付属のコネクタが必要な場合がありますので、ご確認の上、各自ご持参ください。

②スクリーンセーバーならびに省電力設定は、事前に解除してください。

③バッテリー切れに備えて、本体付属の外部電源用アダプタを必ずお持ちください。

④発表後は、発表会場内のPCオペレーター席にて、パソコンをお受け取りください。

(5) 発表について

①発表の1時間前までに、データをPC受付（9階学生ラウンジ）にお持ちいただき、受付をお済ませ下さい。

【PCセンター受付時間】

8：30～15：00

②発表の10分前までに、次演者席にご着席下さい。

③発表の際は、演台にセットしておりますキーボード、マウスをご使用になり、演者ご自身で操作をお願いします。

4. 原稿提出のご案内

本学会総会（9月6日）にて発表した演題の内容を、次号の本学会誌に掲載希望の方は、本学会誌の投稿規定（次項）をご参照の上、日本大腸検査学会事務局に郵送して下さい。可能な限りの投稿をお願い申し上げます。

※お送り先

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6F

株式会社プランニングウィル内

日本大腸検査学会事務局

日本大腸検査学会 投稿規定

〔掲載論文〕

1. 日本大腸検査学会雑誌には、発表演題論文、投稿論文ならびに日本大腸検査学会誌編集委員会による依頼原稿を掲載する。
2. 大腸検査の基礎および臨床研究に寄与し、他誌に未発表のものに限る。
3. 総説、原著、経験、症例報告等とする。
4. 倫理上問題のある論文は受け付けない。インフォームドコンセントを得ておくことが必要な研究ではその旨を本文中に記載する。

〔投稿資格〕

論文の著者（共著者を含む）は、日本大腸検査学会に限る。なお、論文に関与した病理医については本学会会員資格の有無を問わない。

〔原稿の様式〕

論文原稿は、表紙、要旨（400字以内）、本文、文献、図表、図表説明の順に記載し、表紙から頁番号を付与する。また、EMBASEやCASなどの海外文献のデータベースへの収載のため、可能なかぎり英文要旨（200語以内）を付けることが望ましい。

【原稿の書き方】

1. 原稿はワードプロセッサで作成し、B5版用紙に横書き20字×20行単位でプリントする。
2. 表紙には題名、著者所属、著者名、Key words（5個以内）、連絡先住所（電話、Fax、E-mail含む）、および英文表題、筆頭著者の英文名・英文所属、英文住所を明記する。
3. 新かなづかいを用い、医学用語を除いて当用漢字とする。句読点は正確に付ける。
4. 文中の薬剤および機器名などは一般名を用いること。ただし、日本大腸検査学会会員ならびに賛助会員会社の商品については商品名での併記を可とする。
5. 度量衡はCGS単位に限る。
6. 略語は、文中初出の箇所において全綴りの後に（ ）内に記し、原則として新しい略語を用いない。
7. 図表は、本文引用欄に「表1」「図1」のように明記し、図表の内容が英文で表記されている場合、それぞれの説明も英文で表記することが望ましい。
8. 文中の英語については、固有名詞、ドイツ語名詞の頭文字を除いて、小文字で表記する。

【原稿の枚数】

1. 論文原稿は、図表・文献を含め400字詰め20枚以内とする。
2. 依頼原稿の枚数については、適宜編集委員会でこれを定める。

【図表】

1. 図（写真を含む）、表は小1点を400字詰め1枚に換算する。
2. 図版は、拡大・縮小により収載可能な、B5版以下の完全版下（紙焼き写真）を添付すること。文字の修正・矢印の焼き込みなどについては、実費を徴収する。
3. 図表は、1点ずつB5判の用紙に貼付し、図表番号と天地の別を明記すること。
4. カラー図版は別途費用を徴収する。

【校正】

著者校正は、初校のみ1回行うものとする。

【文献】

文献引用のある場合には、本文中該当箇所の右肩に「1, 2」「3-7」のように表記し、本文の後に、1)・・・、2)・・・と一括して、次の要領で記載する。

【雑誌】著者名：論文名、雑誌名、巻：頁－頁、発行年. の順とする。

【書籍】著者名：論文名、雑誌名、署名、頁－頁、発行所、発行地、発行年. の順とする。

著者3名を越える場合は、「3名、他」あるいは「3名、et al」とする。

英文誌名略号はIndex Medicusに従う。

（例）

- 1) 柏木秀樹、井上啓二、小川利政、他：注腸X線における等張液前処置法の検討.
日本大腸検査学会誌、18:229-232、2001
- 2) 高橋成一、樋渡信夫：虚血性大腸炎、戸田剛太郎、杉町圭蔵、中村幸司編、消化器疾患最新の治療、p206-208、南江堂、東京、2001
- 3) Anderson JC, Messina CR, Cohn W, et al: Factors predictive of difficult colonoscopy. Gastrointest Endosc, 54:558-562, 2001.
- 4) Itzkowitz SH, Kim YS: Colonic Polyps and polyposis syndromes. In: Feldman M, Scharschmidt BF, Sleisenger MH, editors, Sleisenger and Fordtran's gastrointestinal and liver disease : pathophysiology/diagnosis/management/Vol 2, p. 1865-1905, WB Saunders, Philadelphia, 1998.